



岡山大学法学部だより



※ 本メールは法学部の教職員、在学生、卒業生および岡山大学法学部ホームページから登録された方にお送りしています

第 99 号(2014 年 11 月 27 日発行)
発行：岡山大学法学部 学部長室

=====
今年の木々の紅葉がきれいでしたが、そろそろそれも散り始めました。

目次

- 卒業生からのメッセージ(第 37 回)
- 法学部からのお知らせ

○ 卒業生からのメッセージ (第 37 回)

学生時代を振り返る度に、もっと法律や外国語の勉強をしておけば良かったと自責の念にとらわれるのですが、それでもコツコツまじめに続けたことは少しは役に立っているというお話をしてみます。

当時はクラブ（ESS）では英語のシナリオを、学部のゼミでは英語の論文を読む毎日でしたが、いつも辞書を片手に英文に取り組む生活は社会人になっても続きました。

生保で国際部に配属され、資金為替や外国債券といった資産運用の業務に携わりました。その後、財務省に新設された国際交流室に、二年間の出向を命じられました。民間金融機関からの出向者の中には、欧米のビジネススクールやロースクールの留学組も多く、彼らに刺激されて米国の大学院を目指しました。週末、専門学校に通ってGMATやエッセーの準備をし、志望校に無事合格することができました。会社の方に休職届を出したところ、一人でよく頑張ったと会社派遣にしてもらえました。

帰国後、保険会社のM&Aが活発になり、外資系証券会社に転職、株式の発行やM&Aの業務に従事しました。その後、外資系の格付会社2社を経て、4年前からは仏銀の証券部門に勤めています。長らく英米系に在籍していましたが、次は欧州大陸系に、と思っていました。仏系企業への転職を機に、フランス語の勉強を始め、今日に至っています。

出向・留学中も、勤務先でも優秀な人達をたくさん見てきました。その中には週末大学院に通って、博士号を取得し、現在大学で教えている人達もいます。私はそこまでのアカデミック志向はなく、代わりに英語以外の語学にはまってみることにしました。これが将来どこまで「芸は身を助くこと」につながるか分かりませんが、英米系のメディアがオピニオンリーダーの役割を担う中で、フランス語を通して見た世界についても語れる日を夢見て、毎日こつこつ辞書をひいています。私の拙い話がいくらかでも皆さんのヒントになれば幸いです。

小林 誠(1987年卒業/クレディ・アグリコル証券会社 金融法人部 部長)

○ 法学部からのお知らせ

☆岡山大学法学部・法学会講演会が開催されました。

法学会では、平成 26 年 11 月 5 日（火）に講演会を開催しました。赤羽和久・岡山刑務所長と柿木良太・岡山少年鑑別所長をお招きして、「矯正施設の現状と課題」についてお話いただきました。

また、平成 26 年 11 月 25 日（火）には、齋野彦弥・横浜国立大学法科大学院教授に「刑法における違法の一元論と多元論」という演題でご講演いただきました。

☆岡山大学法学部・法学会 平成 26 年度第 5 回講演会

日時：2014 年 12 月 11 日(木) 16：15～17：45

場所：創立 50 周年記念館 多目的ホール

講師：松岡 久和 氏（京都大学 大学院法学研究科教授）

演題：「民法（債権関係）の改正～要綱仮案について～」

-
- ・本メルマガは、毎月 2 回程度配信しています。
 - ・法学部の詳細情報に関しては、HP も併せてご覧ください。
法学部 HP <http://www.law.okayama-u.ac.jp/>
 - ・本メルマガには返信なさらないようにお願いします。
 - ・本メルマガの登録・解除は、以下の URL にてお願いします。
<http://www.law.okayama-u.ac.jp/local/mail/>
 - ・ご意見・ご感想は、法学部 情報委員会 joho-mailmaga@law.okayama-u.ac.jp まで。